

原稿校了後の前兆変化について

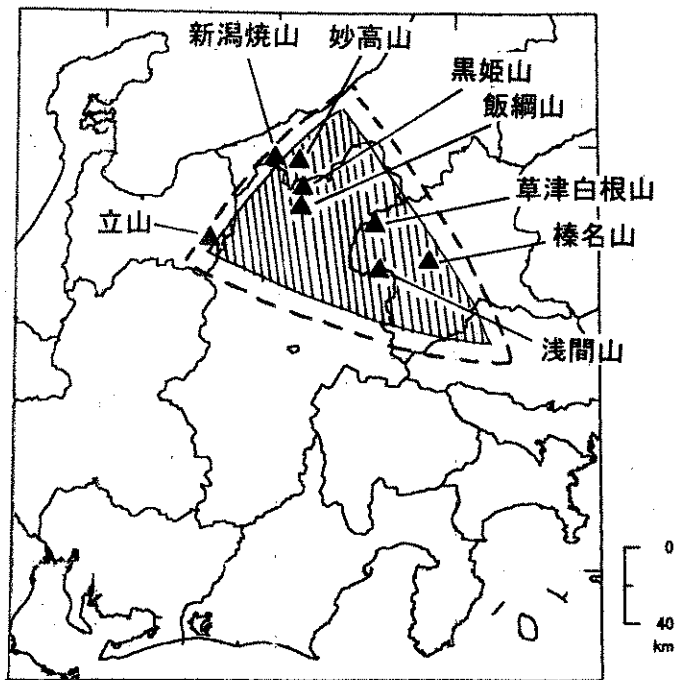
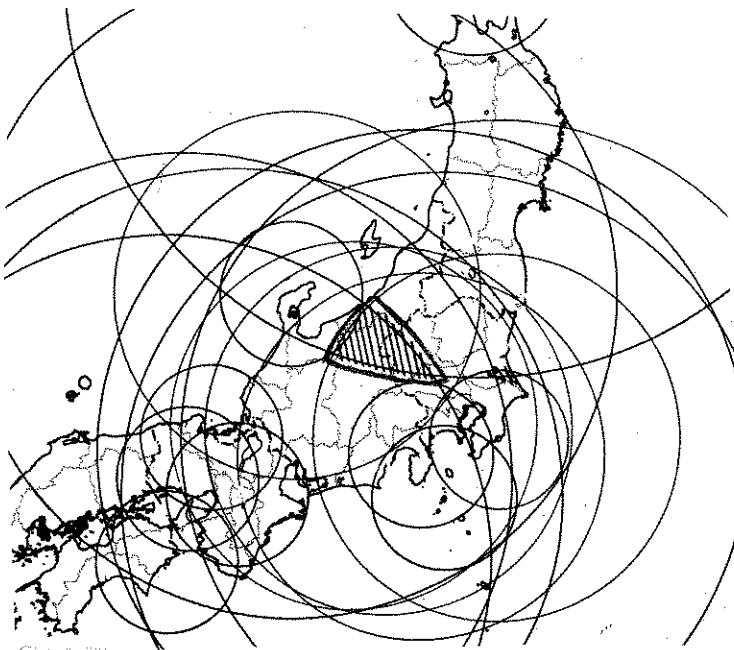
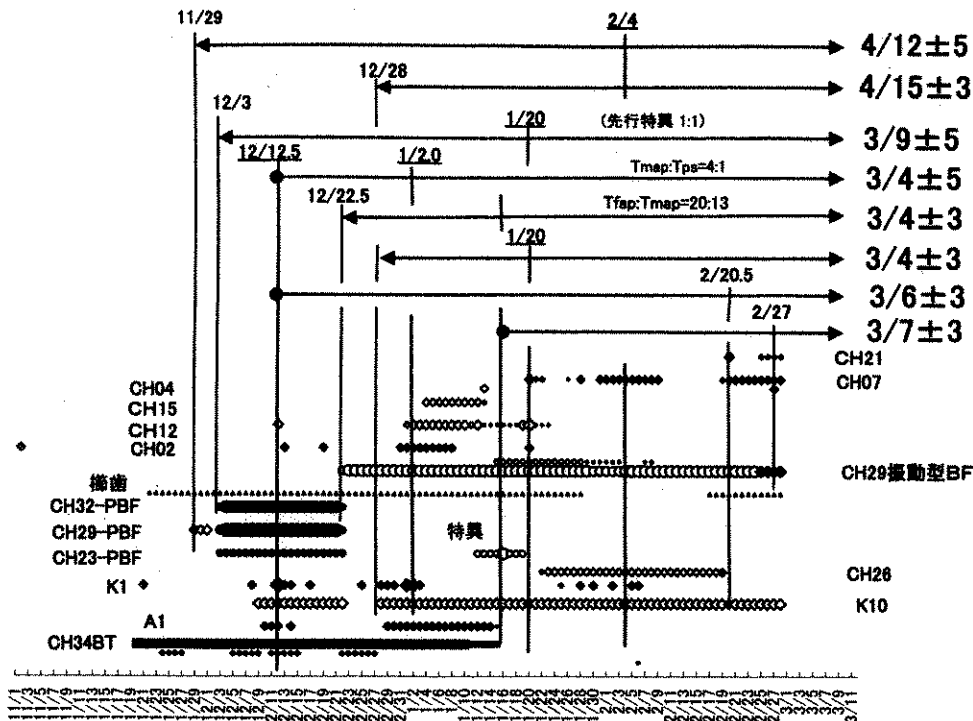
八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
 Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期前兆 3月7日±も推定可能だが 前兆終息考えにくい
 前兆終息観測後に発生時期推定予定

No.1778長期継続特殊前兆の続報。
 昨年12月22日から継続出現していた八ヶ岳南麓のCH29の振動型BF前兆は(振動型BF前兆は東北太平洋沖地震で出現。規模の大きな地震前兆認識)02月25日夕刻より突然特異前兆に変化し、本日も継続しています。

右図前兆出現状況図に記した様な認識をした場合(CH29も3/1±に終息したと仮定した場合)は、03月07日±を示す関係も否定はできません。しかしながら、その場合、2/4極大認識に対する前兆終息が認められないため、少々考えにくいと思われま

す。いずれにしても、現在継続出現中の八ヶ岳のCH07特異、CH29特異、高知観測点のK10等が終息しないと発生日推定は困難な状況です。今後の観測で、発生時期推定根拠前兆変化が認められた場合は、続報でご報告させていただきます。



- ◆推定領域: 上図 大線領域内=可能性考えやすい領域 斜線領域内=火山近傍で可能性高い推定領域
- ◆推定規模: M7.8±0.5 震源浅い陸域地殻地震 火山近傍領域の可能性有
- ◆推定時期: 前兆終息確認後推定予定
- ◇推定発生時刻: 午前9時30分±1時間(又は午後4時±3時間)